

令和四年度年回法要御案内

一	周年忌	令和三年
三	回忌	令和二年
七	回忌	平成二十八年
十三	回忌	平成二十二年
十七	回忌	平成十八年
二十五	回忌	平成十年
三十三	回忌	平成二年
五十	回忌	昭和四十八年
六十一	回忌	昭和三十七年
百	回忌	大正十二年

法事の申し込みは、電話でお早めにお願ひします。

0883-63-2015まで
繰り返して表を届けていますが、書き漏れ、誤書があります。右の御案内でお確かめ下さい。尚一周忌・三回忌は繰り出していないません。
繰り出し表は、あくまで御案内です。法事の日取りは各自が、お寺とご相談して決めて下さい。
法事は、故人を偲んで仏法に遠ざかるなのお勧めです
土・日・連休は立て込みます。お早めにお申し出下さい。コロナ禍お寺の上げ法事が増えました。

安楽寺報

令和三年度
報恩講版

千葉山安楽寺執事所

令和三年度報恩講ご案内

報恩講は、親鸞聖人ご命日に勤める浄土真宗最要の法要です。本願寺では、一月十六日に勤まります。末寺はお取り越しとしてそれまでに勤める習わしです。
当寺では十二月第一日曜日に定めています。
今年も新型コロナウイルス感染症が落ち着きませんが、大切な御正忌報恩講ですので、今年も勤修します。

日時 十二月五日(日)

午後一時開式

正信偈作法

法話

場所 安楽寺本堂

講師 村上 元師

本願寺派布教使(山陰教区)
歌唱指導 坊守 聡子

リモート参拝も用意しています
ご利用ください (裏面参照)

山門北側に記念の庭が完成しました



行く年来る年

大晦日除夜会 31日午後11時半

一年の反省

元旦修正会 1日午前〇時

新しいスタート



除夜の鐘撞きに来て下さい 新年のお勤めで祝いましょう

親鸞聖人お誕生850年立教開宗800年慶讃法要記念
記念品仏間扁額をお届け致します。
本堂正面上段に「大心海」の扁額が挙がっています。この写しをお届け致します。お仏壇上段に掛けて下さい。
「大心海」は阿弥陀仏の別号の一つとして紹介されています。

浄土和讃

十方衆生のためにとて
如來の法蔵あつめてぞ
本願弘誓に帰せしむる
大心海を帰命せよ
高僧和讃
大心海より化してこそ
善導和上とおわけしけれ
末代濁世のためにとて
十方諸物に証をこころ
二首の和讃に見えます

お仏壇の上方の壁面に、遺影を掛けておられるのを見かけることがありますが、阿弥陀様の上方には掛けません。佛語の扁額を掛けるのがよろしいかと存じます。
この法要を機縁として正しく飾っていただくために、記念品として用意致しました。ご活用下さい。



大谷小森「藤村家」から喚鐘(かんしよう)が寄贈されました
藤村家は古くからの篤志家で、安楽寺を大切に護持して頂いており、何を残したか絶えぬお申し出を頂戴し、法要記念に合わせ、喚鐘を製造させ、法要に合せてお出でいただき、お掛け下さいます。古い喚鐘は、百年前の铸造で響きがあまり良くなく、新しい響きをお確かめ下さい。

為先祖代々追慕報恩
施主 大谷 藤村家

尚「喚鐘」は、行事鐘とも言われ、法要が始まる合図に打たれます。この響きの間で導師が作法され、お勤めの合図の音が打たれて発音となり、法要の案内の鐘の音で、法要開始、法要の案内の鐘の音で、法要開始、法要の案内の鐘の音で、法要開始

法要期日 2023(令和5)年

- 【第1期】 3/29 (水) ~ 4/3 (月)
- 【第2期】 4/10 (月) ~ 4/15 (土)
- 【第3期】 4/24 (月) ~ 4/29 (土)
- 【第4期】 5/6 (土) ~ 5/11 (木)
- 【第5期】 5/16 (火) ~ 5/21 (日)

親鸞聖人御誕生



ご縁を慶び、お念仏とともに

ご本山での法要日程が決まりました。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、参詣者の規模を縮小して募集参加人数が決まりました。

安楽寺は、令和5年5月17日(水) 午後9部の
美馬10名・脇町10名合計20名
の団体参拝となりました。

1泊2日 5月17日(水)~18日(木)
費用1人50,000円

少人数になりますが、参詣できる方は、お早めに申し込んで下さい。
先着順定員になり次第締め切ります

TEL受付 0883-63-2015 fax 0883-63-5536

この「あとがき」は自坊安楽寺の報恩講の日のお満座の日に書いております。ちょうど一ヶ月ほど前、十一月二十八日に現在私が勤務している相愛大学のお内仏の報恩講を勤めました。たまたまこの日に、ポーランドのシヨパンアカデミーのホルンスキイ学長が来校しました。今夏、私はアカデミーを敬訪問しました。ポーランドは戦後の復興がすぐれ経済状況はよくありません。アカデミーでは、日本では廃棄処分するような楽器から、すばらしい音色が流れていました。物の不足にめげず、心のゆたかさを求めて励む姿を見て感激しました。この時に学生にパイプオルガンの指導に来て下さる約束をいただいていたのです。学生のレッスンを終えて後パイプオルガンの練習をしているとのこと、行ってみたい。演奏が一段落したとき、楽長は後ろを振り返り、私のこと「気づきました。そして「あなたのために一曲演奏しよう」といって、再びオルガンを弾き始めました。大変感動した私は演奏曲名を訪ねますと、サンサーンス作曲のバルカローレ（舟唄）だということでした。この報恩講の日に、私一人のために舟唄を聴かせて下さったのでした。私は「歎異抄」の「あとがき」にしるされた親鸞聖人のお言葉「彌陀の五劫思惟の願を、よくよく案ずれば、ひとえに親鸞一人がためなり。そくばくの業をもちける身にありける、たすけんとおぼしめしたちける本願の、かたじけなさよ」というあの有名なお言葉です。この私一人のために、しかも果てなき煩惱にまどう私を救うと阿彌陀如来は願船を仕立てて、むかえにきてくださるのだということ、ホロレンスキイ学長が、私一人のために奏でたことでした。蓮如上人の和歌にも「名号は、如来の御名と思しに、我往生のしるしなりけり」というのがあります。「ナモアマミダブツ」とい、私が浄土に生まれさせていただくことを示したもうたのだという事です。親鸞聖人のみ教えは蓮如上人によって、私たち一人ひとりにお手渡し下さいました。その蓮如上人のご恩を感謝し、ご苦労のほどをお偲びするために上梓致しました。平成八年 慈光舎

(後記)

令和三年新型コロナウイルス感染症と共に明け暮れた年でした。一年遅れでオリンピックが開催されました。しょうことなしの衆議院選挙がありましたが何変わることもなく終わってしまいました。安楽寺では、元旦修正会から無事年が明けました。行くことも叶わず、食べることも叶わず、楽しみから引き離された子供たちはどうなるのでしょうか。法事は八割方お寺の上げ法事です。参加人数が段々寂しくなってきました。お葬式もお焼香に訪れる人も少なくなり、いよいよ寂しい限りです。人は、帰るところが無いと迷います。迷わせまいと、親の方から名乗りを上げます。阿波では「とうやん」「かあやん」関西では「おとうちやん」「おかあちゃん」近頃は「ばば」「まま」でしょうか、呼ばれて気付くのです。声ができる方に向け、いつも守られている自分、安心して、悪さができたのです。家から出るときは、苗字を教え、向かって、「行ってきます」には「はよおかえり」でした。帰るところに大地も聞こえぬ声で呼んでくれます。この声が聞こえる間は大丈夫。只今を精一杯生きましよう。人生の帰るところ（帰依所）を「ナモアマミダブツ」の音が知らせて下さいます。ただ呼ばれるままに「ナモアマミダブツ」このままの私でよかったですね、だから一言ありがとうをそえてあなたとともにそんなことに気付いてほしい。 「ここに心のふるさとが」お寺が、お仏壇がそうであることに気付いてほしいと願いつつ、お光り（明るい心）と、お香（清らかな心）と、お花（優しい心）とでお荘厳。お浄土の姿です。記念事業懇志が十分ではありません。来年报恩講で締め切りますが、未納の方は、ご無理の無いところで御進納下さい。文責昭彦

お手伝い帳が出ています。
報恩講お手伝い
境内建物護持費
本山・教区賦課金
ご無理の無いところでご協力
お願いします

佛教壮年会勉強会
奇数月 美馬
偶数月 脇町
第二土曜日
午後7時始
念珠・門徒式章
安楽寺門徒勤行集
男女・年齢不問

親鸞聖人
お誕生850年
立教開宗800年
慶讃法要懇志進納は

郵便振替をご利用下さい
払込取扱票
01650-8-23620
安楽寺護持会

郵便局窓口申し出て下さい